

## ご長寿おめでとうございます 高橋キフさんが満100歳に

5月25日に満100歳の誕生日を迎えた高橋キフさんのもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。つえなしで元気に歩く姿を見た松田町長が「とても100歳には見えない。長寿の秘訣などありますか」と尋ねると、高橋さんは「特別なことは何もない。何でも興味を持つことかな」と笑顔で答えてくれました。外に出て自分で草むしりなどを行うという高橋さん。家族が読んでいる本やパソコンの画面をのぞき込むなど、普段から好奇心旺盛に過ごしているそうです。これからもお体に気を付けてご長寿を重ねてください。



## 心の通う福祉社会を目指して 第9回美郷町身体障害者福祉大会

6月5日に中央ふれあい館で第9回美郷町身体障害者福祉大会が行われ、町身体障害者協会の発展や福祉活動に貢献した会員3名に、町身体障害者協会の村田薫会長より表彰状が贈られました。また、自立と社会活動への参加意欲を高め、障害者福祉のいっそうの充実を目指して努力することを盛り込んだ大会宣言が承認されたほか、町福祉保健課長による講演や、アトラクションを観賞しながらの交流会が行われました。

## 特殊詐欺を未然に防ごう 特殊詐欺防止・交通事故防止キャンペーン

県内での特殊詐欺被害の増加や、国道13号沿いで死亡事故が発生していることを受けて、6月13日に道の駅「雁の里せんなん」で特殊詐欺被害と交通事故の防止を呼び掛けるキャンペーン（大仙警察署主催）が開催されました。キャンペーンでは署員が金の採掘権への出資を促す特殊詐欺の事例を寸劇で実演。レターパックでの送金を求めたり、消費生活相談室を装った電話を交えるなど実際にあった手口を紹介し、参加した町老人クラブ連合会の会員など約30名に注意を呼び掛けました。



寄贈ありがとうございました

キャンペーン後には、町防犯協会から町に対して、特殊詐欺防止啓発用のマグネットシートの贈呈式が行われました。寄贈されたマグネットシートは町所有車両に取り付け、防犯広報活動用として使用させていただきます。ありがとうございました。

## 思いやりの気持ちを込めて 町内小学校で「人権の花」の苗植え

花を育てることで協力・感謝する大切さ命を敬う心を育んでもらおうと「人権の花」運動が行われ、人権擁護委員の皆さんが仙南小学校と六郷小学校を訪問して子どもたちと一緒にペゴニアの苗などを植えました。

このうち仙南小学校では、人権擁護委員の山田重悦さんが「人権とは他人を思いやり自分を大切にすること。その気持ちを花に込めてこれから大切に育ててほしい」と呼びかけ、苗を手にした児童たちが一つひとつ丁寧に植えていました。次回の「人権の花」運動は、7月中に千畑小学校での開催を予定しています。



寄贈ありがとうございました

このたび、大阪府豊中市在住の佐藤正敏さん（美郷町飯詰出身）から記念コインを寄贈していただきました。佐藤さんには、これまでにも町に多数の絵画などを寄贈していただいています。ありがとうございました。



## 災害時に備えて ヤマト運輸株式会社との災害協定締結式

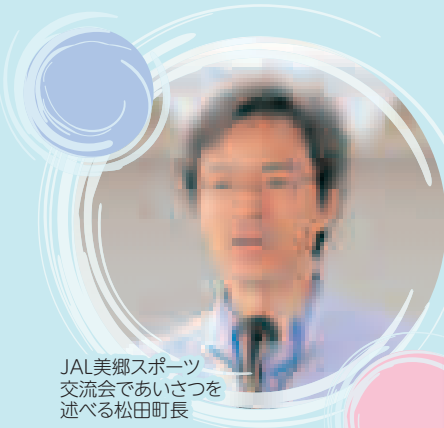
6月17日に役場庁舎でヤマト運輸株式会社と「災害時の緊急物資輸送及び緊急物資拠点の運営等に関する協定」の締結式が開催されました。協定は、防災備蓄物資等を避難所へ緊急輸送する際の支援協力など、災害初動活動の円滑化を目的としています。

協定締結式には松田町長と同社の末次龍一秋田主管支店長が出席。松田町長が「災害時への備えは常に意識しなければならない。物流で力を発揮されているヤマト運輸と協定を結ぶことは大変心強い」と期待を込めると、末次秋田主管支店長は「秋田県内の事業所には約440台の車を配備している。災害時には物資輸送などの支援を図っていきたい」と応え、両者は力強く握手を交わしました。



## 写真の力

美郷町長 松田知己



JAL美郷スポーツ  
交流会であいさつを  
述べる松田町長

例年ですと、降り続く梅雨空を眺めては「あくまた雨か。青空を拝みたい」と思う季節ですが、今年は逆に「また晴れか、あく雲が見たい」と言う日が続いた6月でした。何故こうも雲や雨が少なくなっただのか、雨の神様である竜神が存在するのであれば、訳を聞いてみたい気分になりましたが、どうか農作物には少雨の影響が出ないことを願いたいと思います。

実は今年の6月、私は「雲」

# 風

を待ち望んでいました。いろんな雲の実物を見て勉強したいと思っていたからです。高校で地学を学んでいない私は、雲の知識があまりありません。しかし、JALの機内誌の書評にあった「雲のカタログ」という写真満載の本を購入して、勉強モードのスイッチが入りました。さすがJALです。いい本を紹介してくれました。そしてさすが写真です。勉強しようという気にさせます。改めて「写真の力」を実感です。

私は語れるほどの写真知識も撮影経験もありませんので、話すことに忸怩<sup>じじ</sup>たる思いがありますが、敢えて申すならば、写真はまず撮影者の思想哲学があり、その上に写真の対象物と構図が選択され、そして撮影者の技量とカメラの描写力が乗っかって

作品が仕上がると思っっています。なので、一枚の写真<sup>あそ</sup>を侮<sup>あそ</sup>られませんが、逆に作品から何を受け取るか、見る側のセンスが問われると思っっています。従って、私は写真作品を眺める際、できる限り心の雑念を振り払い、写真家の想いを感じるように努めますし、浮かんでくる感情は大切にしています。これは絵画も同様です。実はこうした過程の中で、私は心がリフレッシュされますし、作品によっては実践に繋<sup>つな</sup>がる何らかのエネルギーを貰<sup>もら</sup>えるように思っっています。これが写真の力だと思っっています。

町では、今月6日から町在住の写真家泉谷玄作さんの写真展を開催します。泉谷さんは花火で有名な方ですが、今回は火と水をテーマに作品を展示してくれるとのこと。みなさん、期待して学友館に足を運んでもらいたいと思っっています。きっとみなさんの心がリフレッシュされるとともに、何か動いてみようと思っうエネルギー、貰<sup>もら</sup>えると思っいます。ご来館をお待ちしております。